



2021年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 フィーチャ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4052 URL https://ficha.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 脇 健一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CF0管理部長 (氏名) 立花 嵩大 TEL 03-6907-0312
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第2四半期の連結業績（2020年7月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第2四半期	118	—	△33	—	△32	—	△31	—
2020年6月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年6月期第2四半期 △30百万円 (—%) 2020年6月期第2四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第2四半期	△5.72	—
2020年6月期第2四半期	—	—

(注) 1. 当社は、2020年6月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年6月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2021年6月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2021年6月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第2四半期	558	535	95.8
2020年6月期	578	524	90.7

(参考) 自己資本 2021年6月期第2四半期 535百万円 2020年6月期 524百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年6月期	—	0.00	—	—	—
2021年6月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	274	△34.6	△57	—	△55	—	△54	—	△9.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想に関しては、本日公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期2Q	5,497,050株	2020年6月期	5,409,000株
② 期末自己株式数	2021年6月期2Q	ー株	2020年6月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期2Q	5,496,348株	2020年6月期2Q	ー株

（注）当社は、2019年11月30日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「Make Things Intelligent」をミッションに掲げ、画像認識ソフトウェアの開発を行っております。

当社グループが属する画像認識ソフトウェア業界においては、自動車向け先進運転支援システム(ADAS)の普及や自動運転技術の実用化に向けて、自動車関連企業各社が取り組みを強化しています。

こうした環境の中で、当社グループは、新規案件の獲得及びディープラーニングをはじめとした画像認識技術の研究開発を積極的に進めてまいりました。しかしながら、当第2四半期においては、ドライブレコーダーの量産案件が堅調に推移した一方で、新型コロナウイルス感染症拡大により、当社の主要顧客である自動車メーカー及び自動車関連企業の設備投資動向や生産計画に想定以上の影響が出ており、先行開発案件の受注が減少しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高118,140千円、営業損失33,341千円、経常損失32,098千円、親会社株主に帰属する四半期純損失31,463千円となりました。

なお、当社グループは「画像認識ソフトウェア開発事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。また、当社は、前第2四半期連結累計期間において四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は516,570千円(前連結会計年度末比11,137千円減)となりました。これは主に、オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資等により現金及び預金が37,858千円増加したものの、受注の減少により売掛金が56,098千円減少したことによるものであります。

また、固定資産は42,416千円(同7,942千円減)となりました。これは主に、減価償却費により有形固定資産が2,639千円減少したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は558,986千円(同19,079千円減)となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は23,602千円(同30,235千円減)となりました。これは主に、法人税等の納付により未払法人税等が17,875千円減少したこと及び消費税等の納付により未払消費税等が15,587千円減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は23,602千円(同30,235千円減)となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は535,383千円(同11,156千円増)となりました。これは主に、オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ20,810千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、457,371千円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は273千円となりました。これは主に、売上債権の増加56,098千円及び前受収益の増加7,681千円があったものの、税金等調整前当期純損失の計上32,098千円、その他項目の減少20,855千円及び法人税等の支払額10,379千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は4,242千円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出4,242千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は42,108千円となりました。これは、オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資及び新株予約権(ストックオプション)の行使による株式の発行による収入42,108千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月期通期の連結業績予想に関しては、本日公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、業績予測につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	419,513	457,371
売掛金	100,741	44,643
仕掛品	1,076	6,107
前払費用	6,375	7,804
その他	—	643
流動資産合計	527,707	516,570
固定資産		
有形固定資産	23,786	21,146
投資その他の資産	26,572	21,269
固定資産合計	50,358	42,416
資産合計	578,065	558,986
負債の部		
流動負債		
未払金	10,197	5,364
未払法人税等	20,010	2,135
未払消費税等	15,587	—
前受収益	2,227	9,909
その他	5,814	6,193
流動負債合計	53,838	23,602
負債合計	53,838	23,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	248,880	269,934
資本剰余金	232,570	253,624
利益剰余金	43,992	12,528
株主資本合計	525,442	536,086
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,214	△703
その他の包括利益累計額合計	△1,214	△703
純資産合計	524,227	535,383
負債純資産合計	578,065	558,986

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
売上高	118,140
売上原価	26,055
売上総利益	92,084
販売費及び一般管理費	125,426
営業損失(△)	△33,341
営業外収益	
受取利息	6
助成金収入	1,052
その他	241
営業外収益合計	1,300
営業外費用	
為替差損	57
営業外費用合計	57
経常損失(△)	△32,098
税金等調整前四半期純損失(△)	△32,098
法人税等	△635
四半期純損失(△)	△31,463
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△31,463

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△31,463
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	511
その他の包括利益合計	511
四半期包括利益	△30,951
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△30,951

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△32,098
減価償却費	6,882
敷金償却	2,016
受取利息	△6
助成金収入	△1,052
為替差損益 (△は益)	244
売上債権の増減額 (△は増加)	56,098
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,030
未払金の増減額 (△は減少)	△4,833
前受収益の増減額 (△は減少)	7,681
その他	△20,855
小計	9,046
利息の受取額	6
助成金の受取額	1,052
法人税等の支払額	△10,379
営業活動によるキャッシュ・フロー	△273
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△4,242
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,242
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	42,108
財務活動によるキャッシュ・フロー	42,108
現金及び現金同等物に係る換算差額	267
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	37,858
現金及び現金同等物の期首残高	419,513
現金及び現金同等物の四半期末残高	457,371

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社普通株式の東京証券取引所マザーズへの上場に伴い、当社普通株式87,000株のオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資を行ったことにより、資本金及び資本準備金がそれぞれ20,810千円増加しました。また、新株予約権(ストックオプション)の行使に伴い、資本金及び資本準備金がそれぞれ243千円増加したことにより、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が269,934千円、資本剰余金が253,624千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結会社において、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、見積実効税率に替えて法定実効税率を用いることとしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「画像認識ソフトウェア開発事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。